設立10周年記念誌

一般財団法人

淡路島くにうみ協会

Awaji Island Kuniumi Association

目　　次

ごあいさつ

理事長　嶋田武司 …… 3

祝　　辞

兵庫県知事　井戸敏三 …… 4
洲本市長　竹内通弘 …… 5
南あわじ市長　守本憲弘 …… 6
淡路市長　門　康彦 …… 7

設立趣旨・協会概要 …… 8

協会沿革 …… 10

活動のあゆみ

Ⅰ淡路を担う人づくり …… 12
Ⅱ花と緑豊かな環境づくり …… 16
Ⅲ活気あふれる地域づくり …… 21
Ⅳあわじ環境未来島構想の推進 …… 26
Ⅴその他事業 …… 30

歴代役員名簿 …… 32

歴代評議員名簿 …… 34

ごあいさつ

一般財団法人淡路島くにうみ協会

理事長　嶋田武司

一般財団法人淡路島くにうみ協会は、「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目指し、平成21年４月１日に財団法人淡路21世紀協会と財団法人淡路花博記念事業協会との統合により誕生し、平成25年４月に公益財団法人への移行を経て、今年で設立10周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、当協会の賛助会員及び行政機関や関係団体の皆様はじめ、地域住民の皆様の多大なるご支援ご協力の賜物であると深く感謝する次第でございます。この冊子は、多くの地域の住民の皆様並びに賛助会員に支えられてきた当協会の１０年間の歩みを紹介いたしております。

当協会は、この間、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するため、県や島内３市等とも連携しながら淡路島全島にわたる事業を展開してまいりました。

「淡路を担う人づくり」を目的とした淡路島くにうみ講座には毎回多くの島民の方にご参加いただきました。また、永田青嵐顕彰全国俳句大会には全国各地や海外からも投句いただくなど今や国内有数の俳句大会になっています。

また、淡路花祭等の「花と緑豊かな環境づくり」事業、淡路島ロングライド150やフィルムオフィスによるロケ支援等の「活気あふれる地域づくり」事業を展開することにより島外の方との交流の機会の創出や淡路島の魅力発信を行い、微力ながら地域の活性化に貢献してまいりました。

さらに、生命つながる「持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」を推進し、環境にやさしい電気自動車や太陽光発電施設の普及にも努めてまいりました。

現在、淡路島の定住人口の減少や少子高齢化の進行、さらには人口の一極集中により地域が疲弊しており、何よりも交流人口の増大を図り地域の活性化を進めなければなりません。本年には、国内12都市で開催されるラグビーワールドカップ2019日本大会、来年には、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会など大規模イベントの開催が予定されているほか、2021年のワールドマスターズゲームズ2021関西、さらには2025日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）など国内外からの訪問者がとりわけ関西地区にたくさん訪れるイベントの開催も予定されています。訪問者による消費拡大が期待されるほか、地域の魅力を発信する大きなチャンスとなるもので、当協会といたしましては、これまでの10年間を糧とし、くにうみの島・淡路の魅力を十分に発信するとともに、行政機関、関係団体、そして地域の住民の皆様とより一層の連携を図りながら、各般の事業になお一層取り組んでまいります。

最後になりますが、これまでご支援いただきました淡路島の皆様、兵庫県、島内３市をはじめとする関係機関の皆様には、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりの推進のため、さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げまして10周年にあたってのご挨拶といたします。

設立10周年への お祝いと期待

兵庫県知事　井 戸 敏 三

一般財団法人淡路島くにうみ協会が設立10周年を迎えられました。心からお喜びします。

昭和60年、大鳴門橋の開通を機に開催された「くにうみの祭典」、そして平成12年に開催された淡路花博「ジャパンフローラ2000」。この２つの博覧会の理念を継承し、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するため、淡路花博記念事業協会と淡路21世紀協会が統合し、平成21年、淡路島くにうみ協会が発足されました。

この10年間、「人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”」を目標に、「淡路花博2015花みどりフェア」「淡路花祭」など、島民と一体となって花の島・淡路を全国にアピールする取り組みを進めてこられました。あわせて、淡路島日本遺産推進事業や「永田青嵐顕彰全国俳句大会」などにより淡路島の魅力を発信するとともに、島民のふるさとへの愛着や誇りを育んでこられました。

また、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録に向けた取り組みのほか、「淡路島ロングライド150」をはじめ豊かな自然、歴史、文化遺産を活かした多彩なイベントの支援により、観光振興、交流を通じた地域活性化にも取り組んでいただいています。さらには、あわじ環境未来島構想の推進役として、持続可能な地域づくりにも尽力してこられました。

こうした取り組みは、地域づくりの模範として全国からも注目を集めています。熱意を持って取り組んでこられた関係の皆様に、改めて感謝します。

『古事記』の冒頭を飾る「国生み神話」。この天地創造の神話の中で“はじまりの島”とされる淡路島には、五斗垣内遺跡の鍛冶工房や数々の銅鐸など古代国家形成期の営みが眠り、その歴史・文化的価値により日本遺産の認定を受けています。また、古くから「御食国」とも呼ばれるなど、淡路島は、歴史や文化、食、自然、多彩な地域資源を有する、無限の可能性にあふれた豊かな地域です。

人口が減少するなかでもなお活力ある地域を創るには、地域が自らの強みを理解し、活かし、自らの手で魅力ある地域を築いていかなければなりません。今こそ、その魅力を最大限に活かし、島民一体となった地域づくりを進めるときではないでしょうか。

島民からの厚い信頼のもと、地域振興に取り組んでいただいている淡路島くにうみ協会にはその先導役として大きな期待を寄せています。すべての島民の皆様の創意と行動力を結集し、ともに淡路島の明るい未来を切り拓いていきましょう。

一般財団法人淡路島くにうみ協会のますますのご発展と関係の皆様のご健勝でのご活躍を心からお祈りします。

淡路島くにうみ協会 設立10周年を祝して

洲本市長　竹 内 通 弘

昭和61年に設立された「財団法人淡路21世紀協会」と平成13年に設立された「財団法人淡路花博記念事業協会」が統合され、平成21年に誕生したくにうみ協会が、このたび10周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

定期的に開催されている「くにうみ講座」では、時には歴史、時にはくらしに身近な自然や花などについて、常に高い知識や卓越した技術、経験をお持ちの方を講師に迎えて開催されており、誰でも聞くことができ、その興味や知的探究心を満たすことのできる貴重な機会が得られる講座となっています。

「淡路花祭」や「あわじ花へんろ」では、瀬戸内の穏やかな気候の中での四季折々の花づくりの支援や淡路島の花の名所の紹介を通して、緑豊かで美しい島の魅力を伝え、フィルムオフィス事業やインバウンド対応、そのほか淡路島が一体となってのイベントによる誘客支援を行うなど、淡路島の活性化に行政の枠を越えた取り組みをいただいています。

また、再生可能エネルギーへの取り組み、豊かな自然を背景にした農と食、人や自然とのつながりを大切にした暮らしなど、豊富な地域資源に恵まれた淡路島で、持続可能な社会をつくる取り組みも推進されています。

これらの数多くの取り組みは、くにうみ協会の設立当初から「すべての島民の創意と行動力を結集して『人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”』を目指し、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進する」という目的を達成するため、淡路を担う人づくり、花と緑豊かな環境づくり、活気あふれる地域づくり、あわじ環境未来島構想の推進という４本の柱の中で実施されており、その活動は年々拡充されています。

その意欲的、継続的な取り組みが大勢の方に親しまれ、今では島民そして淡路島を訪れる方々にとって欠くことのできないものとなったものも多くあります。

今後とも引き続き、これらの取り組みにご精励賜りますことをお願いするとともに、これまで積み重ねてこられました経験から、さらに改良を加え、より多彩なイベント、より個性あふれる取り組みを展開していただければと思います。そしてあふれる自然に囲まれ、この自然と人が関わりを持つことで豊かな生活が可能であるくにうみの島・淡路の魅力発信と振興に力を発揮し、住む人すべてが誇れる淡路島、すべての人から注目される淡路島にしていただくことを期待しています。

平成の終わり、新しい元号の始まりの年、これまで淡路島くにうみ協会の事業を通して淡路島の振興にご尽力いただきました関係の皆様に心から感謝申し上げますとともに、設立10周年を迎えられた一般社団法人淡路島くにうみ協会がますます発展されますことをご祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

設立10周年を お祝いして

南あわじ市長　守 本 憲 弘

一般財団法人「淡路島くにうみ協会」が設立10周年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことを心からお祝いとお喜びを申しあげます。

貴協会は、平成21年４月１日に『くにうみの祭典』を記念して設立された財団法人「淡路21世紀協会」と、『淡路花博ジャパンフローラ2000』を記念して設立された財団法人「淡路花博記念事業協会」が統合し、それぞれの理念を継承した中で淡路地域における振興への取り組みをより一層強力に推進するため発足されました。

設立以来、淡路島の歴史や文化などへの理解を深める「淡路島くにうみ講座」の開催、現在は一般社団法人として独立している「淡路島観光協会」の初期運営、地域資源を生かして生命つながる持続する環境の島を目指す「あわじ環境未来島構想」の推進、花と緑あふれる公園島淡路の創造のための「花と緑豊かな環境づくり事業」への取り組みなど、多くの成果をあげてこられました。経済、文化、環境など、分野を問わず横断的な取り組みを先導できるという特色ある組織の存在は、まさに淡路島の財産であり、歴代の理事長をはじめ、関係各位の並々ならぬご尽力に深く敬意を表するとともに心から感謝を申しあげます。

さて、淡路島三市を合わせた人口は、2000年に約16万人であったものが現在では約13万人となり、今後さらに減少していく予測が出されています。我が国が抱えている少子高齢化・人口減少の課題を先取りした状況にあります。

古事記・日本書紀によれば、淡路島は日本で最初に誕生した「くにうみの島」です。これら直面している諸課題に対し、島民すべての創意と行動力を結集して立ち向かい、これを克服して先駆的に新しい地域社会を示すことが「くにうみの島」淡路島に課せられた使命ともいえましょう。

幸いにも、淡路島は数多くの地域資源、すなわち、多彩な食材、深みのある歴史や文化、温暖な気候や豊かな自然に恵まれた素晴らしい島であります。また、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックと続く我が国でのスポーツの世界イベントを締めくくるのが、再来年のワールドマスターズゲームズ2021関西であり、2025年には大阪万博の開催も決定し、世界の注目が関西に集まり、淡路島においても外国人観光客を含め国内外から多くの人々が訪れることが予想されます。

我々はこの好機を逃さず、官民あげて淡路島の魅力をPRするとともに受入れ体制を整えていく必要があります。こうした中、民間と公共の仲立ちができ、分野横断的な事業が展開できる「強み」を備えている貴協会におかれては、これまでも淡路をまとめて数々の事業を推進された実績も活かしつつ、引き続き、「人と自然の豊かな関係をきずく公園島」を目指し、観光、文化、社会などあらゆる面において、淡路島を発展させる中核を担っていただくことを期待しております。

結びにあたり、淡路島くにうみ協会の今後益々のご発展と関係各位のご健勝を祈念いたしますとともに、貴協会の四つの活動の柱である、「淡路を担う人づくり」、「花と緑豊かな環境づくり」、「活気あふれる地域づくり」、「あわじ環境未来島構想の推進」が、島内三市をはじめ兵庫県や関係機関との密接な連携により着実に推進され、早期に実現することを祈念申しあげまして、設立10周年のお祝いのことばといたします。

創立10周年のお祝い

淡路市長　門　康 彦

一般財団法人淡路島くにうみ協会が設立10周年を迎えられましたことに対し、市を代表して心からお喜び申し上げます。

淡路島では、昭和60年の「くにうみの祭典」をはじまりとし、平成12年に「淡路花博・ジャパンフローラ2000」、平成27年には「淡路花博2015花みどりフェア」が開催され、島全体が多くの観光客でにぎわう中、多くの島民の心にも人と豊かな自然が共生する淡路島の姿が印象づけられました。

この間、「くにうみの祭典」を記念して淡路21世紀協会、「淡路花博・ジャパンフローラ2000」を記念して花博記念事業協会が設立されました。その後、２つの協会が統合され、それぞれの理念を継承する協会として、平成21年に貴協会が設立されましたが、設立時に意見を求められた時、「名前に淡路島を入れてほしい」と依頼した事を懐かしく思い出します。その原点に「淡路島は一つ」という理念がありました。

平成21年の設立以来、すべての島民の創意と工夫を集結して、「人と自然豊かな関係をきずく“公園島”」を目指し、淡路地域の活性化と花と緑のあふれる地域づくりを推進し、地域人材の育成、地域活動の支援や緑化運動の推進など、幅広い活動を実施してこられました。

また、淡路島全体を舞台として開催された「淡路花博2015花みどりフェア」では、実行委員会の事務局として、豊富な地域資源を生かした「持続する環境の島」の実現を目指す「あわじ環境未来島構想」では、その進行役として、その組織力をいかんなく発揮してこられました。10年の節目を振り返り、これまで「淡路を担う人づくり」「花と緑豊かな環境づくり」「活気あふれる地域づくり」「あわじ環境未来島構想の推進」の４つを柱とし、全島挙げての取組を実施されてこられましたことについて、故瀧川理事長はじめ、嶋田理事長ほか関係者全ての皆さまのご尽力に対し心から感謝を申し上げます。

社会が成熟化する中、人口減少、少子高齢化、地域活性化など、地域課題は多様化し、深刻さを増すとともに、社会環境は目まぐるしく変化するなど、地域づくりは新たなステージを迎えています。
私たちの淡路市では、「いつかきっと帰りたくなる街づくり」を将来像とし、豊かな自然、歴史文化、産業などの多様な地域資源を生かし、誰もが笑顔にあふれ、ふるさとを愛し、将来にわたり住み続けたい街、身の丈にあった田園学園都市を目指しています。

貴協会には、これまで培われた信頼や経験があり、今後とも淡路島の発展に大きく貢献いただくものと疑いません。

今後も共に力を合わせ、人と自然の豊かな調和を目指す環境立島「公園島淡路」を目指していきましょう。

一般財団法人淡路島くにうみ協会のますますのご発展と皆さまのご健勝でのご活躍を心からお祈りいたしまして、設立10周年のお祝いの言葉といたします。

設立の趣旨

財団法人淡路21世紀協会と財団法人淡路花博記念事業協会とが統合し、平成21年４月１日に財団法人淡路島くにうみ協会が発足しました。

昭和60年、大鳴門橋の開通を機に開催された「くにうみの祭典」は、明石海峡大橋の建設促進と「公園島淡路」の推進という現在まで続く淡路の地域づくりの方向を示しました。そして、平成12年に開催された「ジャパンフローラ2000」（愛称：淡路花博）はその成果を披露するとともに、「人と自然のコミュニケーション」の理念を世界に発信し、淡路のさらなる発展を期す催しとなりました。

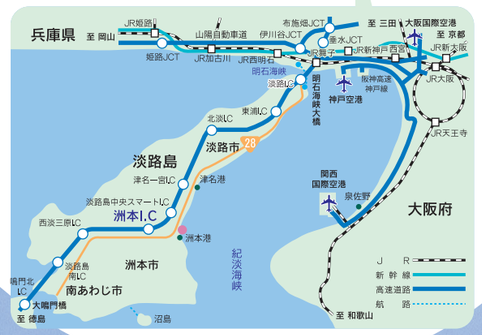
両財団は、ともに両博覧会の理念を実現するために設立され、淡路地域の振興に取り組んでまいりましたが、強力に淡路の活性化のための事業により一層取り組むため、組織を統合しました。

今後とも淡路の活性化と、花と緑あふれる環境立島「公園島淡路」の実現に取り組んでまいります。

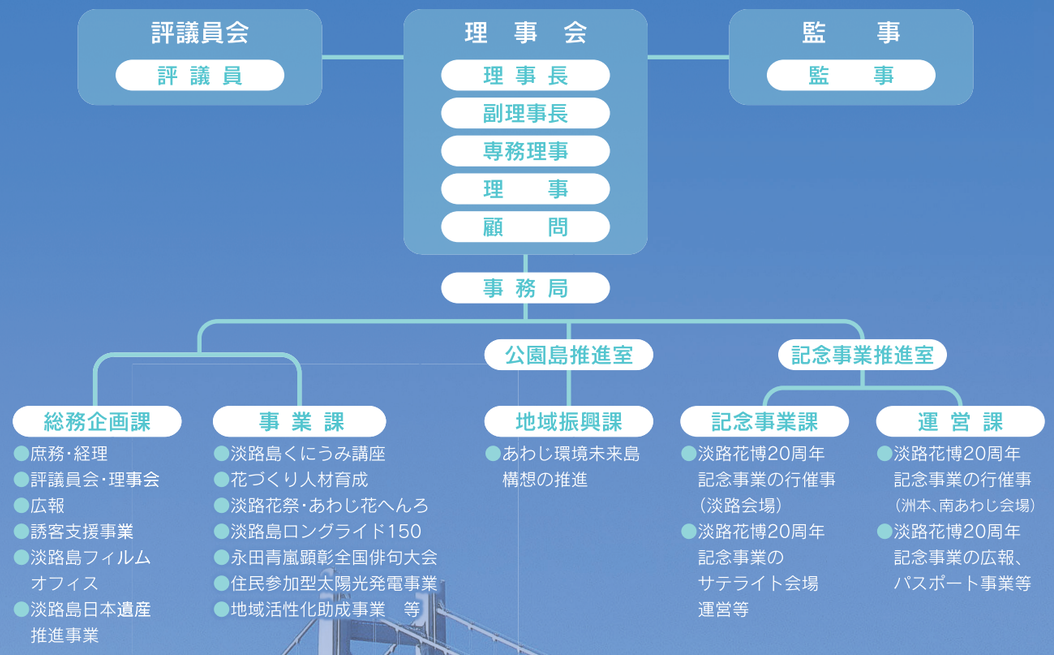
協会概要

法人名称	一般財団法人淡路島くにうみ協会
所在地	〒656-0022 兵庫県洲本市海岸通１丁目11-１ 洲本ポートターミナルビル３階
設立年月日	平成21年４月１日 （法人設立：昭和61年６月25日、 一般財団法人移行：平成25年４月１日）
代表者	理事長　嶋田 武司
役員	評議員10名　理事９名 監事２名（平成31年４月１日現在）
基本財産	225,100千円（平成31年４月１日現在）

淡路島は、兵庫県にある、東西28km、南北55km、周囲約215kmの瀬戸内海最大の島です。東は大阪湾、紀淡海峡を隔て、大阪府、和歌山県に、北は明石海峡大橋で神戸市に、南は大鳴門橋で徳島県に隣接しています。淡路島は、冬季も温暖で年間を通して降水量の少ない瀬戸内海気候に属しています。



組織図



シンボルマーク

淡路の「あ」をモチーフにし、赤（熱い夢と活力）、緑（葉っぱ）、ピンク（花）、紫（波）、青（躍動）の五色で描き、自然（花・緑・広がる海）に囲まれ未来に向かって躍動する人の姿を表し、人と自然の豊かな関係をきずく『公園島淡路づくり』や淡路地域の活性化に寄与する「淡路島くにうみ協会」の理念を表現しています。

一般財団法人 淡路島くにうみ協会の沿革

設　　立

昭和 61 年 6 月 25 日　**財団法人淡路 21 世紀協会設立**
昭和 60 年大鳴門橋開通・くにうみの祭典を契機に設立

平成 13 年 4 月 1 日　**財団法人淡路花博記念事業協会設立**
平成 10 年明石海峡大橋開通・平成 12 年ジャパンフローラを契機に設立

平成 21 年 4 月 1 日　**上記２法人を統合し、財団法人淡路島くにうみ協会設立**
財団法人淡路 21 世紀協会が存続
財団法人淡路花博記念事業協会は解散

組織統合後の動き

平成 21 年 4 月 1 日　**財団法人淡路島くにうみ協会発足**

【事務局組織】総務課、企画課、記念事業課
淡路花博 2010 花みどりフェア開催（平成 22 年 3 月 20 日～ 5 月 30 日）
主催：淡路花博 10 周年記念事業実行委員会（事務局：(財）淡路島くにうみ協会）

平成 22 年 4 月 1 日　**淡路島観光協会を内部組織として設置**

【事務局組織】総務課、企画課、記念事業課、観光振興室観光振興課
淡路島観光連盟、洲本市観光協会、南あわじ市観光協会、淡路市観光協会、五色町観光協会を組織統合して
淡路島観光協会が発足
観光振興室観光振興課が淡路島観光協会の事務局を併任

平成 23 年 4 月 1 日　**公園島推進室 地域振興課設置**

【事務局組織】総務課、企画課、事業課、観光振興室観光振興課、公園島推進室地域振興課
あわじ環境未来島構想推進のため、公園島推進室地域振興課を設置
職員は、すべて淡路県民局公園島企画室淡路振興課の職員が兼務

平成 24 年 4 月 1 日　**観光振興室 観光振興課を廃止**

【事務局組織】総務企画課、事業課、公園島推進室地域振興課
淡路島観光協会が一般社団法人として独立
これに伴い観光振興室観光振興課を廃止
総務課、企画課、事業課を総務企画課、事業課に再編

平成 25 年 4 月 1 日　**一般財団法人へ移行**

【事務局組織】総務企画課、事業第１課、事業第２課、公園島推進室地域振興課
新公益法人制度に対応し、一般財団法人へ移行
大規模太陽光発電事業の実施に伴い、事業課を事業第 1 課と事業第 2 課に再編

平成 26 年 4 月 1 日　**記念事業推進室 記念事業課・運営課設置**

【事務局組織】総務企画課、事業課、公園島推進室地域振興課、記念事業推進室記念事業課、記念事業推進室運営課
大規模太陽光発電施設の完成に伴い、事業第 1 課と事業第 2 課を事業課に再編
淡路花博 2015 花みどりフェアの開催に向けて、記念事業推進室記念事業課及び運営課を設置
淡路花博 2015 花みどりフェア開催（平成 27 年 3 月 21 日～ 5 月 31 日）
主催：淡路花博 15 周年記念事業実行委員会（事務局：(一財）淡路島くにうみ協会）

平成 27 年 11 月 1 日　**記念事業推進室 記念事業課・運営課を廃止**

【事務局組織】総務企画課、事業課、公園島推進室地域振興課
淡路花博 2015 花みどりフェアの終了に伴い、記念事業推進室記念事業課及び運営課を廃止

平成 31 年 4 月 1 日　**記念事業推進室 記念事業課・運営課設置**

【事務局組織】総務企画課、事業課、公園島推進室地域振興課、記念事業推進室記念事業課、記念事業推進室運営課
淡路花博 20 周年記念花みどりフェアの開催に向けて、記念事業推進室記念事業課及び運営課を設置

一般財団法人
淡路島くにうみ協会
Awaji Island Kuniumi Association

活動のあゆみ

活動のあゆみ

淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりに向けたこの10年間の取り組みを、4つの分野ごとに写真で振り返ります。

Ⅰ 淡路を担う人づくり

淡路島くにうみ講座（平成21年度～）

平成29年度
手塚眞氏（ヴィジュアリスト）

平成27年度　キムラ緑子氏（女優）

平成30年度　里中満智子氏（マンガ家）

平成28年度
道上洋三氏
（朝日放送エグゼクティブ・アナウンサー）

平成26年度
八木早希氏
（フリーキャスター）

平成27年度
三上真史氏
（俳優）

平成29年度
武田信一氏
（淡路地方史研究会会長）

平成30年度
長谷川義史氏
（絵本作家）

永田青嵐顕彰全国俳句大会（平成21年度～）

「表彰式」

平成30年度
第十回永田青嵐顕彰全国俳句大会

代表選者講評 稲畑汀子氏
（俳人、「ホトトギス」名誉主宰）

大会感謝状贈呈

「特別講演会」

平成28年第八回
辰巳琢郎氏（俳優）

平成29年度 第九回
有馬朗人氏（俳人、「天為」主宰）

平成30年度 第十回
稲畑 廣太郎氏（俳人、「ホトトギス」主宰）

「吟行ツアー」

青嵐墓所

青嵐生家

「各種講座」

出前講座

入門講座

花づくり講習会事業・花づくり講習会講師派遣事業（平成21年度～）

講習会の様子

あわじ花と緑のコンクール（平成21年度～）

平成28年度入賞作品

平成28年度入賞作品

平成29年度入賞作品

花づくりリーダー育成事業（平成27年度～平成29年度）

後進育成の役割を担うリーダーのステップアップを支援しました。

花づくりグループの研究会

あわじガーデニングＤＡＹ（平成28年度～平成29年度）

花づくりグループ同士が協力して課題解決に取り組めるよう花植え体験学習や意見交換会を実施しました。

花植え体験学習の様子

あわじ田舎暮らし促進事業（平成22年度～平成26年度）

相談の様子

東日本大震災復興支援「花の潤い」助成事業（平成24年度～平成26年度）

被災地での緑花ボランティア活動を行う団体への助成を行いました。

宮城県内での支援活動の様子

活動のあゆみ

Ⅱ 花と緑豊かな環境づくり

淡路花博記念事業

淡路花博の理念を継承し、淡路島全島を舞台に花と緑を中心とした多彩なイベントを実施しました。

「淡路花博2010花みどりフェア」

会　　期：平成22年3月20日㈯～ 5月30日㈰（72日間）
会　　場：淡路島国営明石海峡公園・淡路夢舞台（奇跡の星の植物館等）
　　県立淡路島公園など島内の12の観光施設等
来場者数：2,187,900人

皇太子殿下御視察：スターガーデン「花＊花の庭」

百段苑

オープニングゲート

「淡路花博2015花みどりフェア」

会　　期：平成27年3月21日（土・祝）～ 5月31日㈰（72日間）
会　　場：淡路会場：淡路夢舞台・淡路島国営明石海峡公園、洲本会場：洲本市中心市街地エリア
　　南あわじ会場：淡路ファームパーク イングランドの丘エリア 等
来場者数：3,591,000人

淡路会場　開会式

チューリップまつり
10万本の菜の花畑

五色洋ラン展

TAKARAZUKA
ドリームガーデン

兵庫ご当地グルメ
フェスティバルin洲本2015

こども花絵コンテスト

淡路花祭（平成21年度～）

2015春シンボルオブジェ「高田屋嘉兵衛の『辰悦丸』」
（洲本市民広場）

2017春フラワーコンサート
（洲本市民広場）

2016秋シンボルオブジェテープカット「上立神岩」
（淡路夢舞台）

2018春 花と緑の講演会
（淡路夢舞台）

2015秋「彩りベジタブルガーデン」
（洲本市民広場）

お絵かき花壇づくりコンテスト
（淡路島国営明石海峡公園）

2016春シンボルオブジェ「渦潮と大鳴門橋」
（うずしおドーム・なないろ館）

2019春ゆるキャラによるPR
（淡路ファームパークイングランドの丘）

花と緑の写真教室
（淡路島国営明石海峡公園）

秋花植え体験
（洲本市民広場）

冬咲きチューリップショー（平成21年度～）

主催者挨拶（洲本市民広場）

園児による鼓隊行進（洲本市民広場）

チューリップ展示（洲本市民広場）

花街道づくり事業（平成21年度～）

ガーデンクラブバーベナあわじ

楠本東フラワーガーデン

花かんざし

鮎原下花づくり

平松フラワーガーデン

明神サロン

あわじ花へんろ事業（平成21年度～）

島内の花の景勝地や観光施設を「花の札所」に指定し、巡礼していただくことで「花の島」をPRしました。
（平成31年度3月末現在：72か所）

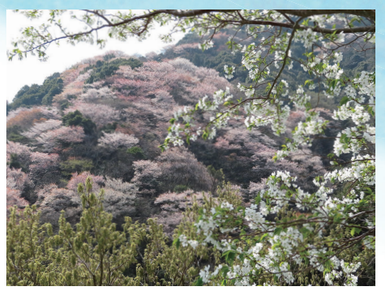
淡路島国営明石海峡公園

淡路ファームパークイングランドの丘

活動のあゆみ

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

パルシェ香りの館


鮎屋の滝・鮎屋の森

スタンプ台

花の札所カレンダー

あわじ交流花壇推進事業（平成21年度～平成26年度）

花づくりグループの技術向上のため「あわじ交流花壇」を製作、交流会を開催しました。

南あわじ市花づくり協会

HNガーデニング

バーベナあわじ

環境美化事業（平成21年度～）

全島一斉清掃の様子

地域活性化助成事業（平成21年度～）

淡路島の活性化を図るまちおこしや地域交流などを行う事業を支援しました。

淡路よさこいフェスティバル

Gift Share

ウクレレhicoca

淡路島誘客支援事業

「淡路島誘客キャンペーン（平成25年度～）」

関係機関と連携して、淡路島名誉大使 桂文枝さんを起用した誘客CMの放送などを行い、国内外に淡路島をPRしました。

CM放映

JR主要駅デジタルポスター

インバウンド誘客ファムトリップ

ツーリズムEXPOジャパン

淡路島ロングライド150支援事業（平成22年度～）

スタート地点の様子
（淡路島国営明石海峡公園）

エイドステーションでのふるまい

前夜祭の様子
（淡路島国営明石海峡公園）

ゴール地点の様子
（淡路島国営明石海峡公園）

淡路島ブランド広域推進助成事業（平成24年度～）

地場産品を利用して、魅力ある「淡路島ブランド」を創出する事業を支援しました。

島のふく（HAREGI）

淡路島日本蜂蜜

淡路島産カレンデュラ（きんせんか）
製ハンドクリーム

明石海峡大橋橋上イベント事業（平成22年度～）

明石海峡大橋海上ウォーク

大鳴門橋うずしおウォーク

淡路島日本遺産推進事業（平成28年度～）

スマホ版
ロールプレイングゲーム

天瓊（あめのぬぼこ）を以て
滄海（そうかい）を探るの図
（小林永濯・画、明治時代）

松帆銅鐸

Awaji Art Circus支援事業（平成28年度～）

海外アーティストによる国際パフォーミングアートフェスティバルの開催を支援しました。

海外アーティストによるパフォーマンスの様子

フィルムオフィス事業（平成21年度～）

ロケ場所の紹介やエキストラの手配など、島内での映画、テレビ、CM等のロケ撮影を支援しました。

（主な支援作品等）

映画「亜人」ロケ風景（淡路夢舞台国際会議場）

映画「種まく旅人～くにうみの郷～」
ロケ風景とロケ地マップ

プロモーション企画

連続テレビ小説「あさが来た」（あわじ花さじき）

連続テレビ小説「べっぴんさん」
ロケ風景（淡路市佐野）

連続テレビ小説「まんぷく」
ロケ風景（吹上浜）

プロモーション企画

映画「引っ越し大名！」ロケ風景（慶野の松原海水浴場）

うみぞら映画祭（大浜海水浴場）

うみぞら映画祭2017
オープニング記念撮影

古事記編纂1300年記念事業（平成23年度～平成24年度）

しまね博参加

ポスター、絵巻、のぼり

活動のあゆみ

Ⅳ あわじ環境未来島構想の推進

恵まれた特性を有しながら、人口減少・経済縮小等の課題に直面する淡路島で、地域資源を生かして、「生命つながる持続する環境の島」を目指す「あわじ環境未来島構想」の実現に向けて、県・島内３市・住民・地域団体・企業等と協働して取り組みました。

暮らしの持続
○誰もが安心して生涯現役で暮らし続けられる
○国内外から人が集い、交流と活力が広がる

生命つながる「持続する環境の島」

エネルギーの持続
○地域資源を生かした再生可能エネルギーのベストミックス
○豊かさとエネルギー消費の両立

農と食の持続
○農と食の志をもった人材が学び、育つ
○安心と健康を支える食の生産・供給拠点

【取組の３本柱と地域の将来目標】

あわじ環境未来島構想推進協議会の運営（平成23年度～）

あわじ環境未来島構想
推進協議会総会

あわじ環境未来島構想推進
協議会企画委員会

あわじ環境未来島構想の啓発推進

「あわじ環境未来島セミナーの開催（平成24年度～）」

住民参加型太陽光発電所見学

育苗センターレタス苗見学

五斗長垣内遺跡での鍛冶体験

「あわじ環境未来島
副読本作成活用事業（平成25年度～）」

授業を通じて構想への理解を深め、淡路島の将来を考えるきっかけとするため副読本を小学生高学年等に配布しました。

あわじ環境未来島副読本
「みらい」

海外との連携（平成25年度～平成26年度）

調査交流団をデンマーク・ボーンホルム島に派遣し、再生可能エネルギーを活用した地域づくりに向けた交流を行いました。

ウッドチップ工場視察

風力発電協同組合
視察・意見交換

デンマーク・ボーンホルム市庁舎前

「ＥＶアイランドあわじ」推進事業

「電気自動車（EV）導入補助（平成23年度～平成27年度、平成29年度～）」

EV教習車導入式

EVレンタカー

「EV充電器設置補助
（平成25年度～平成26年度、平成29年度～）」

ＥＶ用充電器

ＥＶ用充電器設置個所マップ

「超小型ＥＶの活用による普及促進事業（平成28年度～平成29年度）」

電気自動車「超小型モビリティ」を試行的に導入しました。

超小型モビリティ“あわモビ”

超小型モビリティ“あわモビ”走行の様子

竹資源供給体制整備モデル事業（平成29年度～）

バイオマスエネルギーとしての活用と放置竹林の拡大を防止するため、地域住民が行う竹林整備活動等を支援しました。

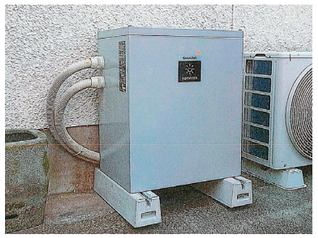
竹林整備活動の様子

大型竹チップ焚きボイラー

太陽光発電システム整備補助（平成23年度～平成24年度）

太陽光発電システム

エネルギーの地産地消促進事業（平成30年度～）



蓄電システム

太陽光発電設備が設置されている住宅の家庭用蓄電池設置を支援しました。

住民参加型太陽光発電事業（平成25年度～）

県立淡路島公園隣接用地に約１メガワットの太陽光発電施設を建設し、売電事業を行いました。

住民参加型くにうみ太陽光発電所

淡路島農と食の体験ツアー（平成27年度～）

ぶどう農園での収穫体験

なるとオレンジ収穫体験

なるとオレンジを使用した加工作業体験

レタス収穫体験

ハンバーガー作り体験

野菜育苗施設見学

活動のあゆみ

V その他の事業

淡路島観光圏整備事業・淡路島観光協会事業（平成21年度～平成23年度）

淡路島への誘客を促進するため、淡路島観光圏整備計画に基づく観光圏整備事業及び観光協会事業を実施しました。

観光客誘致事業
（御食国キャラバン：ハモ道中）

観光基盤整備事業
（海ホタル山ホタル観賞会）

広報・宣伝事業
（総合パンフレット）

淡路島くにうみ協会設立５周年記念事業（平成26年度）

淡路島くにうみ協会設立５周年を記念して、淡路島の将来を共に考えるシンポジウムを開催しました。

日　　時：平成26年4月20日(日)
場　　所：洲本市文化体育館文化ホール

会場の様子

藻谷浩介氏基調講演

チラシ

記念誌

事例発表

淡路島フィルムオフィス10周年記念事業（平成26年度～平成27年度）

淡路島フィルムオフィス設立10周年を記念して、記念展「映画の美術セットから見える裏舞台」を実施しました。

期　　間：平成27年3月21日（土・祝）～ 4月19日(日)
場　　所：淡路夢舞台国際会議場

記念誌

沢山の人でにぎわう会場

崖から落ちそうな
写真が撮れる体験型ブース

町を踏みつぶす怪獣の足のセット

淡路島花の応援団（平成29年度～）

淡路島の魅力を島内外に広く発信し、イメージアップを図っていくため、島外の著名人で淡路島の魅力を広めることに賛同していただける方に「淡路島花の応援団」を委嘱しました。

にこいち
（ミュージシャン）

手塚　眞
（ヴィジュアリスト）

吉谷 桂子
（ガーデンデザイナー）

桑原 征平
（元関西テレビアナウンサー）

白井　操
（料理研究家）

稲畑 汀子
（俳人、「ホトトギス」名誉主宰、
日本伝統俳句協会会長）

有馬 朗人
（元文部大臣、元東京大学総長、俳人、
「天為」主宰・国際俳句交流協会会長）

里中 満智子
（漫画家）

ジェフ・バーグランド
（京都外国語大学
国際貢献学部教授）

稲畑 廣太郎
（俳人、「ホトトギス」主宰）

※委嘱順（敬称略）

歴代役員名簿

職名	氏名	就任期間
理事長	瀧川好美	平成21年4月1日～平成29年1月7日
	嶋田武司	平成29年2月15日～
副理事長	上田茂	平成21年4月1日～平成22年3月31日
	門康彦	平成21年4月1日～平成23年3月31日
	原田一二三	平成22年4月1日～平成23年3月31日
	小畠寛	平成23年4月1日～平成26年3月31日
	竹内通弘	平成23年4月1日～平成25年3月31日
	小林義寛	平成26年4月1日～平成28年3月31日
	栃尾隆	平成28年4月1日～平成31年3月31日
	角田雅宣	平成31年4月1日～
専務理事	原田一二三	平成21年4月1日～平成22年3月31日
	前川謙市	平成22年4月1日～平成23年3月31日
	武田和典	平成23年4月1日～平成25年3月31日
	石田悦雄	平成25年4月1日～平成29年3月31日
	村上隆文	平成29年4月1日～
理事	石田正	平成21年4月1日～平成25年3月31日
	上田茂	平成21年4月1日～平成22年3月31日
	江木耕一	平成21年4月1日～平成24年3月31日
	大塩茂彰	平成21年4月1日～平成21年6月22日
	小川昶	平成21年4月1日～平成21年6月22日
	門康彦	平成21年4月1日～平成25年3月31日
		平成27年4月1日～平成29年3月31日
	兼﨑健一	平成21年4月1日～平成22年6月25日
	才花毅	平成21年4月1日～平成22年3月31日
	清水昭男	平成21年4月1日～平成25年6月24日
	瀧川好美	平成21年4月1日～平成29年1月7日
	長棟健二	平成21年4月1日　平成23年3月31日
	野口利宏	平成21年4月1日～平成23年6月29日
	原田一二三	平成21年4月1日～平成23年3月31日
	前田吉計	平成21年4月1日～平成25年3月31日
	森長義	平成21年4月1日～平成25年3月31日
	山本道雄	平成21年4月1日～平成25年3月31日
	榎本悟朗	平成21年6月22日～平成22年6月25日
	木下紘一	平成21年6月22日～
	後藤英範	平成22年4月1日～平成23年3月31日
	前川謙市	平成22年4月1日～平成23年3月31日
	大村敏郎	平成22年6月25日～平成24年3月31日
	多田幸七	平成22年6月25日～平成23年6月29日
	小畠寛	平成23年4月1日～平成28年3月31日
	竹内通弘	平成23年4月1日～平成25年3月31日
		平成29年4月1日～平成31年3月31日
	武田和典	平成23年4月1日～平成25年3月31日
	中田勝久	平成23年4月1日～平成27年3月31日
	畑野信行	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	藤原道生	平成23年4月1日～平成25年3月31日

職名	氏名	就任期間
理事	秀睦雄	平成23年6月29日～平成24年6月29日
	平木勝昭	平成23年6月29日～平成24年6月29日
	上村雄二郎	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	島田聡	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	谷口進一	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	原孝	平成24年6月29日～平成25年3月31日
	安倍茂	平成25年4月1日～平成27年3月31日
	石田悦雄	平成25年4月1日～平成29年3月31日
	武田信一	平成25年4月1日～
	向内英光	平成25年4月1日～平成26年3月31日
	金岡伸明	平成25年6月24日～
	小林義寛	平成26年4月1日～平成28年3月31日
	原田啓行	平成26年4月1日～平成27年3月31日
	尾原勉	平成27年4月1日～平成29年3月31日
	平川智己	平成27年4月1日～平成28年3月31日
	栃尾隆	平成28年4月1日～平成31年3月31日
	角本雅宣	平成31年4月1日～
	中田勝文	平成28年4月1日～平成29年1月31日
	嶋田武司	平成29年2月1日～
	時枝弘記	平成29年2月1日～平成30年3月31日
	村上隆文	平成29年4月1日～
	吉村文章	平成29年4月1日～平成31年3月31日
	竹田良平	平成30年4月1日～平成31年3月31日
	高見隆	平成31年4月1日～
	守本憲弘	平成31年4月1日～
	藤井宏昌	平成31年4月1日～
顧問	小畠寛	平成29年4月1日～
監事	足立喬吾	平成21年4月1日～平成23年3月31日
	奥下英己	平成21年4月1日～平成22年3月19日
	山本賀一	平成22年3月20日～平成23年3月31日
	谷純夫	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	馬部総一郎	平成23年4月1日～平成26年3月31日
	芝地稔	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	児玉道臣	平成25年4月1日～平成26年3月31日
	大塚悦夫	平成26年4月1日～平成27年3月31日
	真島崇広	平成26年4月1日～平成27年3月31日
	武田好史	平成27年4月1日～平成29年3月31日
	西村淳一	平成27年4月1日～平成28年3月31日
	小畠寛	平成28年4月1日～平成29年3月31日
	石田悦雄	平成29年4月1日～平成30年3月31日
	塔下佳里	平成29年4月1日～平成30年3月31日
	大﨑邦彦	平成30年4月1日～
	音田惠子	平成30年4月1日～
	岡田浩成	平成31年4月1日～

歴代評議員名簿

氏　名	就任期間
東　高志	平成21年4月1日～平成21年6月22日
池本　道治	平成21年4月1日～平成22年3月20日
岩見　米男	平成21年4月1日～平成22年6月25日
太田　文子	平成21年4月1日～平成21年6月22日
奥井　光子	平成21年4月1日～
加登　孝明	平成21年4月1日～平成23年4月27日
河野　光義	平成21年4月1日～平成22年3月20日
倉本　満之	平成21年4月1日～平成24年8月21日
武田　信一	平成21年4月1日～平成25年3月31日
中瀬　勲	平成21年4月1日～平成23年4月27日
登里　倭江	平成21年4月1日～平成25年3月31日
幡井　政子	平成21年4月1日～平成27年12月21日
原口　和夫	平成21年4月1日～平成22年6月25日
三澤　泰士	平成21年4月1日～平成24年6月29日
三ツ井光晴	平成21年4月1日～平成25年3月31日
三根　一乗	平成21年4月1日～平成22年6月25日
髙橋　照代	平成21年6月22日～平成25年3月31日
山本　誠二	平成21年6月22日～平成22年6月25日
土井　敏雄	平成22年3月20日～平成22年6月25日
藤井　寛	平成22年3月20日～平成24年3月27日
明石　善久	平成22年6月25日～平成24年6月29日
五百蔵俊彦	平成22年6月25日～平成24年6月29日
木下　義寿	平成22年6月25日～平成23年4月27日
酒井　一成	平成22年6月25日～平成23年6月29日
髙橋　武信	平成22年6月25日～平成25年3月31日
阿部　計一	平成23年4月28日～平成24年3月27日
池田　進	平成23年4月28日～平成25年3月31日
平田富士男	平成23年4月28日～平成25年3月31日
雨松　良光	平成23年6月29日～平成24年6月29日
長江　良彰	平成24年3月27日～平成25年3月31日

氏　名	就任期間
蓮池　久志	平成24年3月27日～平成24年8月21日
笹倉　雅人	平成24年6月29日～平成27年3月31日
瀧川　卓	平成24年6月29日～平成25年3月31日
萩原　千佳	平成24年6月29日～平成25年3月31日
廣地　宏	平成24年6月29日～平成25年3月31日
森　紘一	平成24年8月21日～平成25年3月31日
山本　和彦	平成24年8月21日～平成25年3月31日
石田　正	平成25年4月1日～
斉藤　庸平	平成25年4月1日～平成27年3月31日
谷口　進一	平成25年4月1日～平成27年3月31日
原　孝	平成25年4月1日～平成26年7月16日
前田　吉計	平成25年4月1日～平成26年7月16日
森　長義	平成25年4月1日～
山本　道雄	平成25年4月1日～平成25年6月23日
西　啓次郎	平成25年6月24日～平成28年7月15日
荒木　俊介	平成26年7月16日～平成28年7月15日
東根　壽	平成26年7月16日～
安倍　茂	平成27年4月1日～平成29年3月31日
藤井　英映	平成27年4月1日～
藤原　道郎	平成27年4月1日～平成29年3月31日
太田　益生	平成28年7月15日～平成29年10月18日
河野さか𡚁	平成28年7月15日～
平松　章	平成28年7月15日～平成30年8月27日
竹本　明正	平成29年4月1日～平成30年3月31日
中瀬　勲	平成29年4月1日～
高濱　義尚	平成29年10月18日～平成30年8月27日
糟谷　昌俊	平成30年4月1日～平成31年3月31日
上野　忠	平成30年8月27日～
琴井谷隆志	平成30年8月27日～
石井　孝一	平成31年4月1日～

一般財団法人
淡路島くにうみ協会
設立10周年記念誌

発行日　平成31年4月

発　行　一般財団法人
淡路島くにうみ協会

〒656-0022
兵庫県洲本市海岸通1丁目11-1
洲本ポートターミナルビル3F
TEL　0799-24-2001
FAX　0799-25-2521
http:// www.kuniumi.or.jp/

一般財団法人
淡路島くにうみ協会
Awaji island Kuniumi Association